

◆平成28年度一般会計補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ7,853万円を追加し、予算総額を71億8,543万円とするものです。今回の補正は、国の補正予算によるもの、事業の確定及び見込みによるもの、緊急を要するもの等です。

○上名寄集住化住宅等整備事業

1億2,130万円



上名寄集住化住宅等整備予定地

上名寄12線に集住化住宅2棟4戸、農業用研修道場整備として、圃場、ハウス2棟、耕運機等を整備するものです。担当課から「集住化住宅は全体8戸の計画で、うち4戸の整備を先立つて行うものである。11月入居を予定している。2戸は新規就農希望者用、残りは高齢者離農者用として予定している。上名寄16線の集住化計画については、付近公住や教員住宅等の組合せの中で検討していきたい。入居者については、新年度に入ってから意向等を把握していきたい。管理運営は、町、農協、農家の方々と協議をしていきたい。」などの説明があり、委員から「入居者の意向把握と管理運営について早期に検討すべきである。」などの意見がありました。

○宿泊研修交流施設運営調査委託料 △56万円

担当課から「本施設は公の施設となる。管理運営については当面直営で行うが、その後は指定管理も考えている。フロント業務は嘱託職員か臨時職員で行い、その他業務は委託する。」などの説明があり、委員から、「議会の附帯決議を尊重するとともに、管理運営方針を早期に確定すべきである。」などの意見が出されました。

○まちおこしセンター運営協議会委員報酬 △13万円

担当課から「所管が環境未来都市推進課に変わった。運営方法などについて、タウンプロモーション推進部、産業連携会議などで議論していき



まちおこしセンター内

い。」などの説明があり、委員から「管理は入居事業者だけで行うのではなく、運営方法も入居団体と広く一般の参加を得て、議論を求めた中での予算計上にもかかわらず、予算皆減は議会意向が反映されていないものである。また、所管替えによる予算措置等連携が十分とはいえない。」との意見が出されました。また、今補正予算の全体を通して、補正増額した科目での補正減額計上

が多々見受けられます。予算計上に当たった後の精査が不十分であり、今後の予算計上に当たっては、十分留意するよう申し添えるものです。

◆平成28年度病院事業会計補正予算(第4号)

病院事業収益を4,180万円減額し、収入総額を5億215万円とし、支出では、病院事業費用を2,110万円減額し、支出総額を5億5,385万円とするものです。支出では看護師等の退職者に伴う給与費等を減額、収入では入院・外来患者の減少等により減額、一般会計からの補助金を増額するものです。以上、補正予算2議案については当委員会の審査の結果、原案どおり可決すべきものと決しました。